

## 「北広島団地地域サポートセンターともに」の視察研修

令和元年6月26日

納内地域集落対策協議会では、北広島市緑陽小学校を改装して市と民間が力を合わせて開設した「ともに」を視察しました。認知症の方を対象としたグループホームは18人が入居可能で、そのほかヘルパーの事務所、訪問介護の事務所、ケアマネージャーの事務所、サービス付き高齢者住宅31室(教室の半分が1部屋)となっています。高齢者住宅はアパート契約と同じで60歳以上であれば誰でも入居が可能で、仕事をしていても入居ができ、サ高住が付いた安心のアパートという考えで提供されています。この施設には活動室、体育館、グラウンドがあり、スポーツ合宿としても利用されています。中には喫茶店があり、地域の方が無報酬でコーヒーなどを提供し、その収益でバス停に椅子を設置して地域貢献もしています。年間の利用者数は3万人以上で地域の交流施設として、大いに利用されている事が分かり有意義な研修となりました。

